

模擬テストを活用しよう
—誤答分析で偏差値アップを—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：最も効果的な模試の活用方法は何ですか。

A：誤答分析、つまり模試で間違った問題を徹底的に分析することです。

Q：どうやるのですか。

A：試験終了直後に、一問、一問丁寧に問題を検討。間違った問題について、なぜ正解しなかったのか、本当の原因を考えます。

もし、問題や設問の内容がよくわかっていない、つまり、理解不足が原因ならどうするか。教科書や参考書、辞書などで、うんなるほどとよくわかるまで理解することがまずは大切です。

理解はしているが、うろ覚えや、うっかりミスが原因ならどうするか。

一度うんなるほどと理解した内容を正確に身につける、つまり、定着させるためには3つの練習が必要です。

Q：どんな練習ですか。具体的に教えてください。

A：声を出して読む音読練習。正確に書けるまでにする書き取り練習。基本的な問題や計算は問題を見た瞬間に答えが出るまでにする問題・計算練習。

この定着のための三大練習を繰り返すことです。

Q：応用問題ができない場合はどうしますか。

A：過去に入学試験や模擬試験で出題された問題を少なくとも5～6年分、できれば、4～5回ずつ実際に解いてみるのが最も効果的です。

過去問を解き、できなかった問題について、さきほどの誤答分析を行うと応用力がつきます。

本日の下野模試も、誤答分析が終わったら、5～6回解き直すことをお勧めします。応用力が確実に身につきますよ。

Q：最後に一言どうぞ。

A：受験勉強のコツは、勉強時間の絶対量を確保することと、勉強方法を工夫することです。

勉強時間が少なければ、また、勉強方法がまずければ、成績は上がりません。

自分は受験生である、自分の未来は自分で切り開く、志望校合格は自分の力で勝ち取るという自覚も欠かせません。

がんばりましょうね。

